

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 相模原キャンパス 研究・管理棟／先端宇宙科学実験棟

TOTO

研究・管理棟 外観



宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の全国にある13事業所9分室の中で、宇宙科学研究所の本拠地となっている。

研究・管理棟 2F女性トイレ 洗面コーナー



ダークブラウンの木目調の壁や、大理石調の洗面カウンターと床が、ホテルのような高級感を演出。グリーンが置かれ、落ち着きと温かみのあるトイレ空間となっている。壁側には鍵付きの小物入れが設置されている。

研究・管理棟 基準階 (3F～8F) 女性トイレ



(左)改修後は大便器ブースが1つ増え、「使いやすくなった」との声が職員より挙がっている。(右)鏡裏の間接照明が、温かみのある空間を演出している。

研究・管理棟 基準階 (3F～8F) 男性トイレ



男性トイレはプライバシーに配慮し、小便器の間に仕切りを設けている。洗面器は、カウンターへの水はねを考慮し、半埋込みの「ハーフベッセル」タイプを採用。

研究・管理棟 2F女性トイレ パウダーコーナー



個別鏡を採用したパウダーコーナー。カウンター下にフックを設け、荷物がかけられるよう配慮がなされている。携帯用ヘアアイロン等にも利用できるコンセント付き。

研究・管理棟 2F女性トイレ 大便器ブース



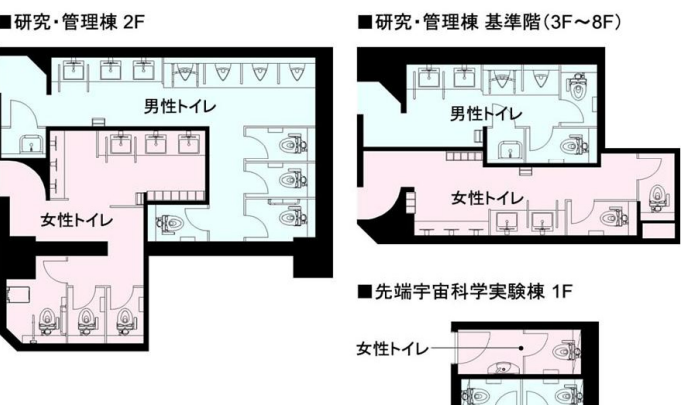
ブースの一つは広いスペースをとり、L型手すりとはね上げ式の手すりが設置されている。また、着替えもできるよう、フィッティングボードが設置されている。

先端宇宙科学実験棟 1F男女トイレ



改修前は男性トイレのみだったが、改修によって女性トイレも新設した。白を基調とした、明るく清潔感のある内装。プリズム柄の壁と粒子の光る床材が、近未来的な雰囲気を出している。

トイレ図面



■研究・管理棟 2F
■研究・管理棟 基準階 (3F～8F)
■先端宇宙科学実験棟 1F

研究・管理棟 2F男性トイレ 大便器ブース



(左)ブース間の仕切りを天井まで立ち上げ、プライバシー性を高めている。(右)大便器はふた無し、洗浄ボタンはセンサースイッチとすることで、非接触を実現し、衛生面に配慮している。

研究・管理棟 2F男性トイレ 小便器コーナー



小便器はシンプルなデザインと節水性能を両立する自動洗浄小便器 (UFS900)を採用。小便器の足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラフロアを採用。

建築概要

名 称	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 相模原キャンパス 研究・管理棟／先端宇宙科学実験棟
所 在 地	神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1
施主・監理	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
設 計	株式会社 ニッテイ建築設計
施 工	同郷建設株式会社 第一工業株式会社 平野電気株式会社
竣工年月	(改修)2017年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>
相模原キャンパスは、JAXAの中で宇宙科学の研究を推進する拠点である。敷地内には研究・管理棟、研究センター棟、ロケット・人工衛星搭載機器の基礎開発や試験を行う先端宇宙科学実験棟など、合わせて15の建物がある。JAXA全体で推進しているオフィス環境改善の一環として、研究・管理棟、先端宇宙科学実験棟のトイレの改修を実施した。研究・管理棟においては「ホテルライクな高級感と落ち着き」、先端宇宙科学実験棟においては「近未来感」を目指し、内装にこだわった仕上がりになっている。

<トイレの特長>
研究・管理棟のトイレにおいては、女性への配慮として、小物入れやパウダーコーナーを新たに設置した。また、3F～8Fの女性トイレでは大便器ブースが1つしかなく不足していたことから、男女トイレの位置を逆転することで数を増やした。改修後に利用者に対して行ったアンケート調査では、「ブースの数が増えて混雑が解消された」「デザインがおしゃれ、高級感があり、居心地が良くなった」との声が挙がっている。